

三重大学生物資源学部の オープンキャンパスはいかがでしたか？

今後の参考のため、ぜひアンケートにご協力ください！
QRコードを読み取って、申込時のログインID・パスワードを入力し、
マイページの「アンケート」を選択して回答してください。



三重大学 生物資源学部

オープンキャンパス 2024 ガイドブック

8/9 金

9:00～12:00

生物資源学部校舎

目次

生物資源学部オープンキャンパスへようこそ	P.1
タイムテーブル	P.1
模擬授業	P.2
ブース紹介	P.3
研究室自由見学について	P.4
生物資源校舎案内図・研究室紹介	P.5～10
アンケート・秋のミニオープンキャンパスご案内	P.11



秋の ミニ・オープンキャンパス

開催日
10月20日(日)

MIEXPOとして研究展
も同日開催

詳細に関しましては、
後日、本学HP等で
公開予定ですので、
そちらもご確認ください。

近鉄「江戸橋」駅 時刻表

平日（2024年7月1日現在）

名古屋方面		赤字：急行 / 名古屋行		四：四日市行	
12 時	02	05	19	四 32	42
13 時	02	05	19	四 32	42
14 時	02	05	19	四 32	42

伊勢中川（奈良・大阪）方面

赤字：急行 / 松阪行・宇治山田行・五十鈴川行
津新：津新町行

12時	松02	津新11	宇22	津新34	松44
13時	松02	津新11	宇22	津新34	松44
14時	松02	津新11	宇22	津新34	松44

三交バス「三重大学前」停 時刻表

平日（2024年7月1日現在）

津駅方面					
12時	07	28	33	37	50
13時	07	37	45	50	
14時	07	33	37		

生物資源学部オープンキャンパスへようこそ

生物資源学部長 松村 直人

生物資源学部は 37 年ほど前、当時の農学部と水産学部の統合により発足した全国にないユニークな学部です。大学院の博士課程を大学単独でもち、入学定員が260名と農学系では東海・中部の国公立大学の中で最も多く、近畿、中四国を加えても第2位を誇ります。前身を1921(大正10)年設置の三重高等農林学校とし、100周年を迎えた伝統校です。100周年の記念事業では、クマノザクラの記念植樹も行い、記念の石碑を教育学部との間の緑地に設置しましたので、是非ご覧になって下さい。今年4月に学科を改組し、現在、1学科4コース制となっています。生物資源総合科学コースは、1年間で学部全体を広く学び、2年生以降、農林環境科学、海洋生物資源学、生命化学の各コースに配属されます。

学部には約 70 もの教育研究分野があり、農林水産系におけるほとんどの学問領域をカバーします。また、関連する施設として、紀伊・黒潮生命地域フィールドサイエンスセンター(農場、演習林、水産実験所)、そして東海・北陸・近畿地方の国立大学の中では唯一の練習船(勢水丸)を所有し、さらに、全国初の鯨類研究センターを有します。このように、生物資源学部は「山の頂から海の底まで」広大なフィールドを教育・研究の対象とし、自然環境の保全と農林水産業及びその関連産業、すなわち、食料、環境、健康、バイオという人類の未来にかかわる産業振興を担う人材の育成を目指しています。みなさんの好奇心と可能性を満たす場所が必ず見つかるでしょう。

タイムテーブル

憧れのキャンパスライフを先取りできる貴重なイベントが盛りだくさん。スケジュールをしっかりと把握して、効率的にまわろう！

内容	実施場所	実施時刻
受付	生物資源学部 1F	8:45～11:30
模擬授業	大講義室 (218)	9:15～10:00 10:30～11:15
学部紹介ブース	(217)	9:00～12:00
フィールドサイエンスセンター 勢水丸・連携大学院ブース	(118) (125)	9:00～12:00
入試相談室	(220)	9:00～12:00
学生生活ブース	(219)	9:00～12:00
研究室自由見学	3F～7F 各研究室	9:00～12:00
農場の販売ブース	1F 受付横	10:00～12:00

模擬授業

タイトル

シン・植物栄養学
～眠った標本をお宝にする研究とは？～

場所 大講義室(218)

時間 9:15～10:00

所属 生命化学コース

先生 水野 隆文

内容

植物は土に含まれる無機養分を吸収し、光のエネルギーを使って栄養(有機質)を作ります。養分の不足や取り過ぎで病気になるのはヒトも植物も同じですが、植物は種類によって含まれる養分の「適量」や「許容範囲」、「平均値」が違います。

私達は「植物標本—蛍光エックス線分析法」という方法で植物の元素データを集め、データベース化し、日本に分布する植物の栄養特性を解析しています。模擬授業では植物栄養学の分野で始まった新しいアプローチによるデータサイエンスについてお話しします。



タイトル

魚の病気を研究する

場所 大講義室(218)

時間 10:30～11:15

所属 海洋生物資源学コース

先生 北村 真一

内容

魚を食べるのは好きですか？水族館に行くのは好きですか？実は、養殖業者や水族館の職員は、毎年のように感染症と戦っています。このような魚介類の病気を研究する学問を「魚病学」と呼んでいます。

魚病学の最終目的は病気をコントロールすることですが、病気になってしまった魚を見ていると、生理や形態が劇的に変化するなど、不思議な現象に出くわします。

魚病学では、この不思議な現象を基礎生物学的な視点から研究することもできます。

この講義では、魚病学の基礎研究と応用研究を紹介します。



頭に「おでこ」ができたヒラメと
頭が溶けたマダイ

ブース紹介

学部紹介ブース

場所 (217)

学部紹介ブースでは、生物資源学部の教育や研究に関する情報が掲示されています。興味のある研究などあれば、適宜ご質問にお答えしますのでお気軽にお声がけください。なお、入試に関する質問は入試相談室でお尋ねください。

フィールドサイエンスセンター・ 勢水丸・連携大学院ブース

場所 (118・125)



生物資源学部は「山の頂から海の底まで」の生物資源と環境を総合的に学ぶことができる全国でもユニークな学部で、それを支えているのが充実した附属教育研究施設（フィールドサイエンスセンター（演習林、農場、水産実験所）、練習船「勢水丸」と連携大学院です。附属教育研究施設はフィールドを中心とした教育・研究および地域貢献を目的とし、各施設の立地特性を活かした体験と研究ができる総合フィールドサイエンスの拠点として機能しています。また、当学部では様々な分野の最前線で活躍する研究機関や企業と連携し、高度な大学院教育を実施する連携大学院を設置しています。ブースではこれら施設や連携大学院で行っている教育・研究活動について紹介しますので、スタッフにお気軽にご質問ください。

入試相談室

場所 (220)

教員と入試担当職員が、入学試験（一般選抜、学校推薦型選抜など）について皆さんの質問にお答えします。入試の参考となる各コースの情報についても提供します。

学生生活ブース

場所 (219)



学生生活ブースでは、大学生の日々の生活について紹介します。「大学生の一日はどんな感じ?」、「部活、サークル、アルバイトと授業は両立できるの?」、「自宅通学と下宿での学生生活の違いについて知りたい!」など、高校生の皆さんが気になるキャンパスライフを先輩学生が紹介します。気になることがあれば、ぜひ気軽に見に来てください。

研究室自由見学について

どの研究室がどこにあって、どんな事をしているのか、階ごとに以降のページでご案内しています。

研究室名	部屋番号
農林環境科学コース	
研究室紹介	

研究室名	部屋番号
海洋生物資源学コース	
研究室紹介	

研究室名	部屋番号
生命化学コース	
研究室紹介	

研究室名	非開放 000
コース名	
研究室紹介	

※研究室名が灰色の箇所は、非開放となっています。

エレベーターは2台（Bゾーン、Dゾーン）とも使用可能です。

見学できる部屋には、ドアの前に統一規格の掲示があります。それを見つけたら、どんどん入っていきましょう!

校舎内をスタッフが巡回しています。目的の部屋が分からないときなど、お気軽に声をかけてください。



「勝手に入っていいんですか?!」

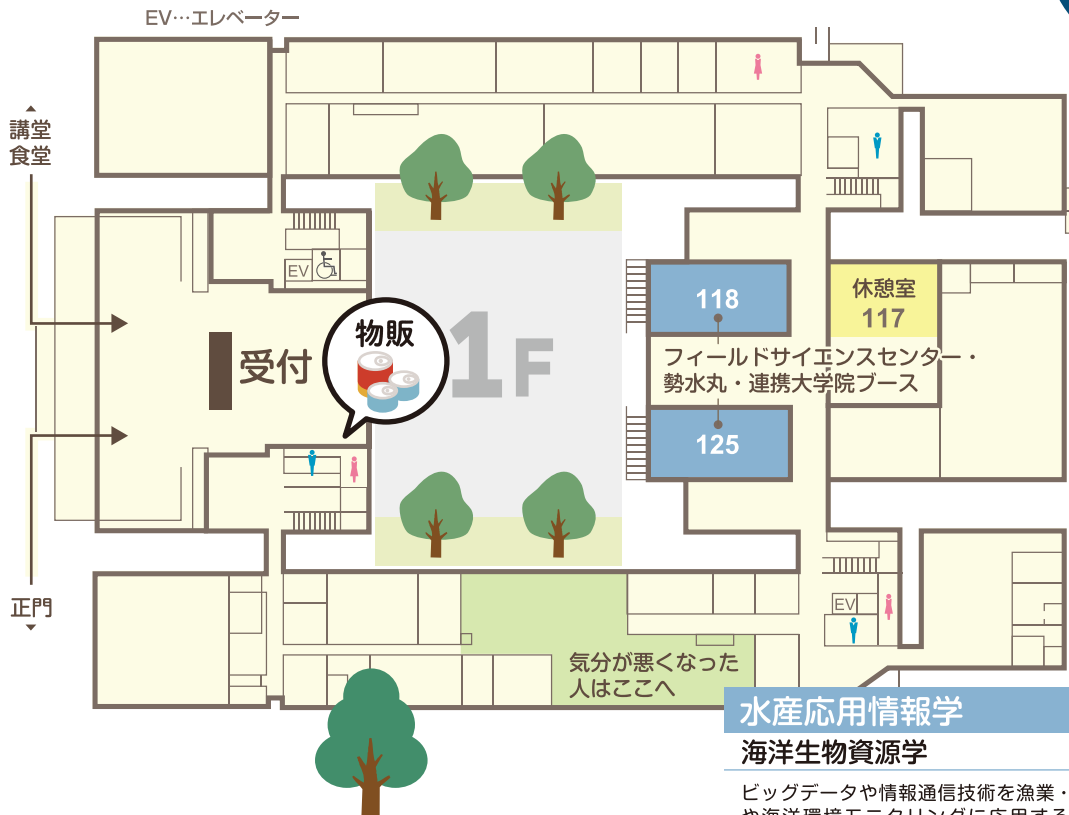
「研究室がいっぱいありすぎてどこに行ったらいいかわからないです!」

ご注意ください!

- 安全のために装置や機械・薬品等に許可なく触れないでください。興味があるときは教員や学生に一声かけてから!
- ベランダに立ち入ったり、廊下の窓から乗り出したりしないで!
- その他、緊急の場合も含め、スタッフ（シールを付けています）の指示に従ってください。
- 研究室内では一切飲食は禁止されています。

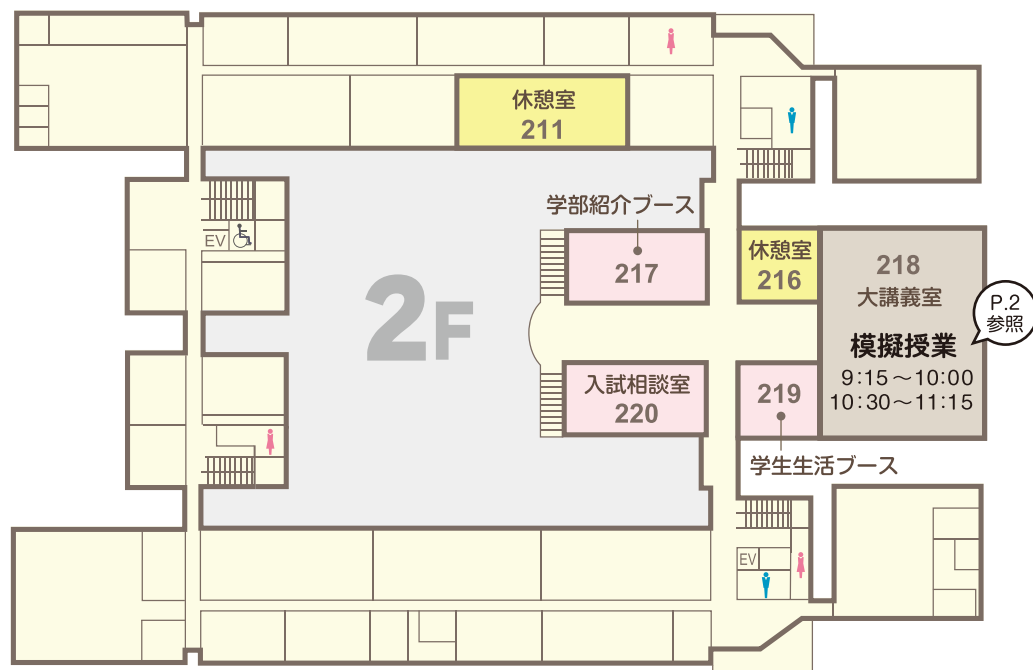


生物資源校舎案内図



水産応用情報学
海洋生物資源学 125

ビッグデータや情報通信技術を漁業・養殖業や海洋環境モニタリングに応用する研究を行っています。水産実験所ブースにて研究内容を紹介し、ご質問にお答えしています。



土資源工学
農林環境科学 316

国内外の農地施設と農業用排水施設における様々な環境問題に対する持続的手法による解決と災害への対応も含めた農業構造物の保全を目標としています。具体的には、農業構造物に重要な「土」、「地盤」、「材料」、「水」の土工学および工学的な現地調査・実験・解析手法に基づく地域環境保全に関する教育研究を行っています。

水資源工学
農林環境科学 319

農業・生命に欠かせない重要な「水」を研究しています。
 本研究室では、スマート農業を支える**水位検出**や**土壌水分センサー**などの測定システムの開発、**水草**群落のあるため池や**水棲生物**であるカワナを育む**水路**といった**水環境**を調査実験解析しています。

水利施設工学
農林環境科学 325

農業に必要な水を水田や畑に導くまでには多くの施設が必要です。当研究室では、水を確保し導くための構造物やその材料の研究を行っています。ダム、橋や水路などの構造物に興味のある方は是非いらしてください。

農村計画学
農林環境科学 328

地域計画を立てるためには自然環境、人文環境を知らなければなりません。またこれらを適切な評価をしていくことが求められています。美しい田園空間を創造するために必要な自然環境の評価方法、適切なゾーニングのやり方などについて調べています。

地球システム進化学
農林環境科学 375

大学で行われるゼミの雰囲気、進路のこと、研究のこと、大学生活のことなど、お茶を飲みながら大学生・大学院生とゆる〜くお話ししましょう。

資源経済システム学
海洋生物資源学 343

国民の食料供給および豊かな食生活の実現に重要な役割を果たしている水産物の安定供給および地域経済の振興を目指し、当研究室では、新たな水産物の生産・流通・消費システムの構築を主な研究課題として、調査・研究・分析を行っています。

未来海洋予測学
海洋生物資源学 346

「海が未来の気候を左右する」…地球の表面積の7割を占める海は、大気に膨大な熱や水蒸気を与えることで、気候変動を制御しています。この研究室では、近年の極端気象の頻発化のメカニズムと海洋温暖化の関係について研究しています。

海洋食糧化学
生命化学 371

大型藻類は、二酸化炭素の吸収源やものづくりの原料として現在、注目されています。研究では、有用な大型藻類について培養方法、から利用法（海藻ポリフェノールや希少糖をはじめとする生理活性物質の生産と利用）の開発まで研究に取り組んでいます。教員と学生が皆さんからの質問にお答えします。

昆虫生態学
農林環境科学 367

昆虫の生態を研究しています。花粉媒介など野外調査もたくさんしていますが、本日は実験室を見学していただきます。室内実験では主に寄生蜂の行動、外来の植食性カメムシの餌範囲の進化などを研究しています。研究室のありのままの姿をご覧ください。

資源作物学
農林環境科学 361

お米や麦、豆、いも、お砂糖になる作物を育てる研究をしています。肥料が入手困難な現状を鑑みて、国内の食品廃棄物から肥料を作り、食料を作ります。肥料と食料の自給率UPを目指しています。



分子遺伝育種学
農林環境科学 354

主に植物の遺伝子解析や品種改良に関連した研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

気象・気候ダイナミクス
海洋生物資源学 351

「地球の謎を知ることってワクワクするぞ！」気象学をベースとして、地球規模の気象の長期変動や気候変動の仕組みの解明を目指して研究を行っています。学部レベルで気象学の勉強と研究を本格的にできる大学は、中京圏では三重大学だけです。

気象解析予測学

私たちは身近な気象から地球スケールの気象について研究しています。当日はその研究の一部について紹介します。

フードシステム学
農林環境科学

411

3つのヒミツに迫る
「農業ロボットと人工知能のヒミツ！」
「農食に関わる五感・感性を可視化するセンシングのヒミツ！」
「植物工場のヒミツ！」
を、体験講座で知ることができます！

生産環境システム学
農林環境科学

427

「食や設備の安心・安全を守る新しい技術を創出する」
設備や農畜水産物の健康状態や品質を診断できるシステム、
生物生産用知能ロボッ トなどに関する教育・研究を行っています。

緑環境計画学
農林環境科学

404

森林の持続的利用を目指し、森林の現状や機能を評価する研究や森林の管理計画を構築する研究を行っています。いま私たちが国内外の森林で行っている研究についてご紹介します。

海洋気候学
海洋生物資源学

483

海洋気候学研究室では、熊野灘並びに日本近海を中心に物理的な環境の変化、その変化に伴う水産物の資源量や漁獲量の増減等に注目して研究しています。合言葉は、「Think globally, Act locally!」。地球全体を念頭に、地域に即して研究しましょう。

循環経営社会学
農林環境科学

478

人口減少社会は新たな農業問題をもたらしています。それは地域社会の縮小・不活性化、国産農産物の需要低迷、農業生産力の脆弱化などです。これらの解決のために、国内外の農業経営や食品関連企業の実態調査や、直売所利用の消費者調査など、フィールドを重視した研究を行っています。

園芸植物機能学
農林環境科学

462

身近な果物や野菜を「よりおいしくするには？」「効率よく楽に育てるには？」「暑さなどの悪環境に強くするには？」などのテーマに取り組んでいます。園芸作物に興味がある方は462号室にご集合ください。

エネルギー利用工学
農林環境科学

417

「再生可能なバイオマス素材の開発」
環境に優しく生分解可能なバイオマスマテリアルの開発をテーマに、農業廃棄物を原材料とし、生分解可能なバイオボードの開発、農業用マルチシートの開発、水耕栽培型植物工場用培地の開発を行っています。

応用環境情報学
農林環境科学

424

炭は燃料だけでなく、吸着材、土壌改良材や炭素貯留材など様々な用途があります。私たちは様々なニーズに対応した新時代の炭づくりを研究・開発しています。炭とは何か？どんな特徴があるのか？なぜ今炭に注目しているのか？すべての疑問にお答えします。

食品発酵学
生命化学

非開放
434

微生物がもつ酵素の機能や代謝経路を解明し、有用物質生産やエネルギー生産に役立てるための研究を行っています。



応用行動学
海洋生物資源学

517

魚類や甲殻類の行動特性や行動生態を調べることで、生物の保全に関する研究を行っています。本日は当研究室が研究を行っている生物のなかで、希少性の高い種をいくつか展示するとともに、実験や実習の様子について写真や映像を交えて紹介します。

海洋個体群動態学
海洋生物資源学

非開放
526

水産資源の管理や水の中の生き物の保全に、生物の量や数の解析を通じて貢献することをめざしています。コンピュータを使った解析や野外調査を中心に研究を行っています。

森林利用学
農林環境科学

505

森は生物の棲む場所です。その中の少しの部分を人は自然から借りて生きています。私達の研究室では、欲張って人がたくさん森の資源を使ってしまうたり、荒らしてしまわないように、適切な木の伐り方、伐る場所、伐る量などをフィールドでの調査や数学、GIS、リモートセンシングを使った方法で研究しています。

森林環境砂防学
農林環境科学

非開放
502

森林総合環境学
農林環境科学

583

持続可能な社会の実現のため木材利用が注目されていますが、どのような使い方をしても良いわけではありません。本研究室では、木材利用が地球環境や地域経済に与える影響の評価や評価のための手法の開発などを行っています。

分子生物情報学
生命化学

579

ゲノム解析や遺伝子・タンパク質の発現解析、タンパク質の構造や機能の解析、微生物熱測定、およびそれらの応用を目指した教育研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。※精密機器があるため立ち入りできないエリアがあります。

水圏資源生物学
水圏分子生態学

合同展示

非開放
529

魚類、爬虫類、二枚貝類、甲殻類などの遺伝、進化、摂食生態、外来生物問題に関する研究を行っています。野外調査（釣りや潜水調査も含む）、遺伝子実験、飼育実験、電子顕微鏡観察など、様々な手法を駆使して研究を進めています。

海洋生態学
海洋生物資源学

540

干潟・砂浜から深海までの貝や甲殻類などの海洋生物の生態や保全に関する研究を行っています。野外調査を通じて、生きた生物に触れられます。本日は研究対象生物の生体展示をし、適宜質問にお答えします。

動物生産学
農林環境科学

非開放
548

動物のホルモン分泌や消化管に生息している微生物について調べることで、動物の生産性を高めるための基礎的な研究を行っています。



草地・飼料生産学
農林環境科学

440

私たちの健康を支える乳や肉の生産に欠かせない「飼料資源」について、反芻動物による栄養素の利用性の観点から研究を行っています。本日は身近な乳製品のもとになっている様々な飼料を展示しています。

国際資源植物学
農林環境科学

458

【気候変動は土壌を劣化させる?!】
作物はその一生に必要な養分の多くを肥料からではなく土壌中の有機物から獲得しています。私たちは、持続的な作物生産を確保するために、気候変動が土壌有機物やそれに依存する作物に与える影響について研究しています。

森林微生物学
農林環境科学

450

451

452

森の栄養循環に欠かせない微生物の働きを明らかにするため、樹木に密接にかかわる菌類、細菌類、線虫の生態に関する研究を行っています。本日は微生物の分離・培養、観察やDNA解析で扱う機器の説明をいたします。

国際資源利用学
農林環境科学

非開放
449

草地生態系の健康性を調べるため、放牧草原を構成する牧草・動物・土壌・気候の相互作用を含んだ生態系システムの解明を行っています。また、動物（家畜や野生動物）の空間的な行動を解析しています。



土壌圏循環学
土壌圏システム学

合同展示

573

知っていますか？
土壌のすごい力を！！
植物に水や養分を与えるのも
環境をめぐる水を浄化するのも
生物の生活の場を支えるのも
みんな土壌の優れた力です。
そんな土壌を様々なセンサーや
シミュレーションで探っています。
是非、来て、見て、触って下さい。

森林保全生態学
農林環境科学

570

森林生態系のしくみを明らかにするために、森林に生育する野生植物の生態を研究しています。例えば、フィールドである森林や水辺林に通い、樹木めばえの生き残りパターンや成長を調べ、生育環境と生物との関係について考えます。

植物医科学
農林環境科学

非開放
559

当研究室では植物の病気の診断、除菌および植物と様々な関係を持つ菌類の基礎的な研究を行っています。これまでに得られた研究成果をまとめたポスターを廊下に展示しますので、どうぞご覧ください。

魚類増殖学
海洋生物資源学

610

淡水魚を中心として、魚類の生態や生活史を解析したり、外来魚の生態を解明して影響評価や駆除技術の開発につなげ、天然水域で魚を増やすための研究をおこなっています。本日は研究資料の一部を展示するほか、研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

水族生理学
海洋生物資源学

非開放
629

魚類・頭足類の視覚生理（視力、動体視覚、視野、色覚など）を中心に研究しています。解剖学、組織学、分子生物学的手法による解析データをもとにして、種の生態をさぐるとともに、釣り糸やルアーの視認性評価を行います。

浅海増殖学
海洋生物資源学

625

甲殻類（特にえび類）の繁殖・成長に関する研究や、海産動物の幼生～成体の餌となる微細藻類の特性解明・利用法に関する研究などを行っています。本日は研究などで使っている生き物の一部を公開するとともに、適宜質問にお答えします。

木質資源工学
農林環境科学

604

当研究室では木材の物性や力学的性質および木造建築の構造耐力や居住性に関する研究を行っています。興味のある皆さんは研究室HPを是非ご覧ください。

木質分子素材制御学
農林環境科学

602

石油の代わりに、木材や農業残渣を使って、様々な製品を創りだす研究をしています。バイオマス、バイオエタノール、生分解性素材、リグニン、紙、地球温暖化、石油代替、循環型社会、などに関心ある皆さんは是非お越しください。現役大学生、大学院生が、最前線の研究をお見せします。

生物機能化学
生命化学

667

生き物から機能性物質を取りだして役立てる研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。※実験室内の器具や試薬には許可無くさわらないでください。

先端養殖管理学
海洋生物資源学

615

魚介類の病気（魚病）に関すること、具体的には魚介類が病気にかかる仕組み（病理）、病気を起こす生物（病原生物）、病気から身を守る仕組み（生体防御）、および魚病の治療法や予防法などについて研究しています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。

鯨類学
海洋生物資源学

631

海洋の高次捕食者である鯨類の生理、生態、行動などに関する基礎的研究と教育を行うとともに、野生鯨類の保全や人間活動による影響の軽減、水族館における飼育個体の繁殖推進などに取り組んでいます。本日は研究資料の一部を展示し、適宜質問にお答えします。

藻類学
海洋生物資源学

622

海藻と海草の生理生態に関する基礎研究を行い、その生き方や生態系での役割を解明し、環境修復や養殖に役立てる研究を行っています。そのために培養実験や潜水調査を行っています。本日は培養している海藻や調査・実験機器が見学いただけます。

水産物品質学
生命化学

非開放
710

水産資源の高品質化・高付加価値化を目指して、産業上有用なタンパク質や化学品原料を対象に研究しています。主に海洋の生物遺伝資源から新しい遺伝子を探査、機能解析し、生物工学を基盤とした有用物質生産技術の開発を進めています。

生物物性学
生命化学

非開放
722

体の全体に血液を運搬している血管の細胞や筋肉の細胞の生理的機能を研究しています。これらの機能に関わるタンパク質やその遺伝子の機能を調べています。また食品の固さや流動性を調べる研究もおこなっています。

海洋微生物学
生命化学

706 702

海洋細菌の生態、代謝解析、有用微生物の利用および有害微生物の制御について研究しています。研究室の見学では、微生物の単離・同定のための実験設備・機器、洗浄メカニズムの解析装置、空間除菌装置、表面清浄度の簡易測定技術、抗菌性材料の成果品などを展示しています。

微生物遺伝学
生命化学

759

主に微生物によるバイオマス利用に関する分子生物学的研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。※遺伝子組換え実験を実施中ですので一部見学をお断りする場合があります。

分子細胞生物学
生命化学

754

主に動物細胞を用いて、DNA複製や転写、細胞分化などに関する研究を行っています。本日は研究室の普段の姿を公開し、適宜質問にお答えします。※一部精密機械や化学試薬がございますので、それらについてはお手をふれないようお願いいたします。

生体高分子化学
生命化学

715

魚貝類にみられる特殊な機能について生化学、分子生物学的方法で研究しています。また、水生生物に共生する微生物やウイルスの役割についても研究しています、応用研究として真珠を作るアコヤガイから機能性成分を取り出し、化粧品素材としての素材開発を目指しています。研究室では真珠成分からつくった化粧品の展示を行う予定です。

生物制御生化学
生命化学

非開放
738

水圏材料分子化学
生命化学

718

水棲生物を中心とした天然物から私達の健康や美容面に有効な成分や機能性構造物を探索するとともに、細胞や実験動物、ヒト皮膚組織を利用してそれらの作用機構を明らかにする研究をしています。本日は研究の紹介や皆様のご質問に教員ならび学生がお答えします。

海洋生物化学
生命化学

726

海藻の生命現象のメカニズムを遺伝子やタンパク質レベルで調べる研究のほか、アコヤ真珠の色調に関わる色素の研究なども行っています。本日は研究室を公開し、現役大学生、大学院生が、みなさんの質問にお答えします。



創薬化学
生理活性化学
生命化学

662

生物の世界では様々な瞬間に鍵と鍵穴の関係が活躍します。ウイルス、医薬品、香り、味、など様々な現象を解き明かすために鍵と鍵穴を化学的に研究しています。当日は、研究内容の説明と実験室の見学を行います。

栄養化学
生命化学

657

食品成分の機能性を明らかにしたり、動植物から得られた未利用資源を有効活用し、生活習慣病の予防や健康の増進に役立てる研究をしています。本日は研究室を公開し、適宜質問にお答えします。

食品生物情報工学
生命化学

652

生物体や食品の光計測とそのバイオ・食品加工プロセスへの応用、食品の風味に関する基礎的な研究、先端的な食品加工技術などの研究を行っています。詳細については研究室HPを是非ご覧下さい。

生物海洋学
海洋生物資源学

644

植物プランクトンや化学成分など海洋の生産場を支える領域の研究や赤潮に関する調査・研究を行っています。本日は実際に顕微鏡による植物プランクトンの観察をしていただけます。また、適宜質問にお答えします。



食品化学
生命化学

749

機能性食品や医薬品としての利用を目指した、有用糖質（オリゴ糖や食物繊維）の合成に関連する研究を行っています。新しい酵素の探索や性質の解明、希少な機能性糖質の合成法の開発に取り組んでいます。

土壌圏生物機能学
生命化学

741

当研究室では荒れ地緑化と植物の元素集積に関する研究をしています。緑化に使う三重県産のハーブ（タイム）を展示します。